

西部地域振興ふれあい拠点施設事業が再開!?

市は1700席の音楽ホール等約182億円

西部地域ふれあい拠点施設については、県知事との会談や庁内会議の結果PFIから従来の請負方式に変更し、本事業を再開すると報告がありました。早期着工をめざすことから県と市の施設とにぎわいの創出である民間施設は別々に建設するようです。市は、音楽ホール約1700席と生涯学習施設などを建設しますが、県と市の駐車場は204台です。周辺道路整備や駐車場

の少なさから不安の声が出ています。一般質問で私は、県が施設の一部を見直し縮小させているのに対し、市は施設の中身を見直していません。今、税金や公共料金のあいつぐ値上げや障がい者・児童・高齢者福祉なども削る財政状況ならば、市の整備事業費約182億円の中身を見直すべきと迫りました。

市は川越駅西口のロータリーを一部改修する計画を検討中です。また、西口の無料駐輪場については有料の駐輪場整備のため、暫定自由広場が一時利用休止となります。影響が大きいので市民の声も聞きながら進めるべきです。

川越駅西口周辺整備基本構想より



- 今後のスケジュール
- 10月20日：市役所で生活相談
 - 21日：社会福祉審議会
 - 22日：市役所 議員団会議
 - 30日：雀の森で議会報告会
 - 31日：大東地域で議会報告会
 - 11月1日：農業委員研修会
 - 2日：土建組合市と懇談
 - 3日：川越駅西口周辺整備について地域住民と意見交換
 - 5～6日：農業委員会視察
 - 7日：赤旗まつり
 - 9日：市営住宅の懇談会
 - 10～12日：総務常任委員会視察
 - 16日：何でも相談会
- ※ 生活相談・法律相談は随時行っております。



予算案の質疑をしました。今回は障がい者団体の反対を押し切り入院費用の一部助成が削減されることになり市のやり方に憤りを感じました。20億の補正予算のは、**緊急雇用創出事業**約3900万円

を活用し、川越駅東口の地下駐車場をLEDランプに変更。**駐車管理棟に電気自動車急速充電設備を設置**します。**太陽光発電システム助成**に2100万円増額。今年400件の見込み。**道路橋梁の維持・補修、整備**についても少ない補正予算が組まれています。雇用対策や道路・雨水対策、福祉などみなさんの願いが市政に反映されるようがんばります。

紅葉と食欲の秋です。

私の住む大東地域では、巨砲や梨などおいしい果物が直売で出回り、6月にはきれいな地下水の源流から蛍の姿も見られる自然豊かなところで

で新たに35人の雇用が創出されます。

この秋は、運動会や芋堀り、文化祭やも行われ地域の交流も盛んに行われます。このよう

な貴重な自然や文化行事は大切にしていきたいですね。

9月議会では、重度心身障害者医療費助成の一部削減案や約20億の一般会計補正

の低い**父子家庭にも児童扶養手当が拡大**で約4千万円の増額。

地球温暖化対策基金

2003年4月初当選、市議会議員2期8年目

プロフィール

1973年7月6日生 37歳
家族構成は、家庭保育室と保育園に通う3人の子どもと夫
現在：総務常任委員、
○農業委員、○介護保険事業計画等推進委員会、
○社会福祉審議会（子育てプランなどを計画推進する分科会）

2010年10月発行

9月市議会報告 日本共産党市議会議員

川口ともこ

～生活・法律相談を実施中～

発行：日本共産党川越議員団
連絡先：川越市役所日本共産党議員団控室
電話：224-8811
内線3636
ホームページ：<http://www.jcp-kawagoe.jp/>

連絡は市役所又はお急ぎの方は携帯へ
連絡先：090-9833-0288
住所：豊田本1868-1

中核市として児童虐待防止策の強化を

川口知子市議は、「子どもの貧困」を克服する諸施策について(1)児童虐待防止について(2)就学援助制度の拡充について、市営住宅の建替え等一般質問しました。

今、一週間に1人の子どもが亡くなっています。子育て機能の低下、核家族や一人親家庭、連れ子再婚など児童虐待の背景には様々な問題が複雑に絡み合っています。さらに国が進める構造改革によって貧困と格差を広げ、派遣労働など雇用の不安定化が経済的貧困を生み、子どもの貧困も増えています。私は、国や自治体が様々な策を講じて克服していかねばと考えます。国連の定義を元にすれば、日本の子どもの貧困率は14・2%。7人に1人が貧困状況にあると発表しています。

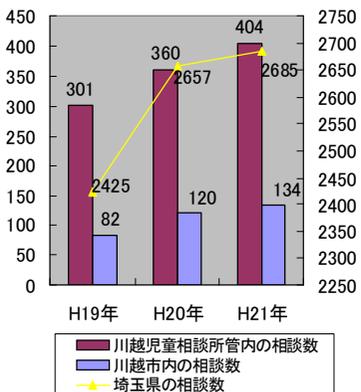
直通電話検討したい

私は、虐待防止の取り組みとして市に「こどもSOS」の名称で24時間対応の直通電話を整備してはと提案。福祉部長は、専門的にワンストップで対応していく環境の整備は必要。子ども

からの相談も含めいつでも誰でも相談できる直通の電話を検討したいと答弁。

さらに、児童虐待相談が増え川越市の管轄である所沢の一時保護所も常についていっばい状況を示し、県と協力して旧保健所を改築し市内に一時保護所を設置すること。また、予防事業として産後など家事・育児が困難な家庭への家事援助サービスなどを提案しました。同部長は、一時保護の問題について児童相談所設置も含め検討したいと答弁しました。

児童虐待相談件数



いま就学援助拡充を

市は財政難を理由に就学援助を生活保護基準の1・3倍に引下げました。子育て家庭からは「中学校入学で制服や鞆など揃えると足りない」、「家族が病气(介護)で医療費がかかる。就学援助を受けたいが収入基準で切られてしまう」という声を紹介し就学援助基準を充実するよう求めました。

老朽化した月吉町市営住宅 計画的に建替えを

現在、一番古い市営住宅は、築が昭和40年に建てられた月吉町住宅です。

私は、修繕もされないなかで床や壁がたわんで生活に支障が出ている入居者の声を紹介。市民からの入居要望も多く市営住宅の建設が求められているとし、その財源も示しながら月吉住宅の建て替え計画を進めるよう提案しました。



川合市長一年目の市政はどうだったの？ 福祉切捨て負担増の連続！

「平成21年度の市の予算運営がどうだったのか？」

9月議会で質疑がおこなわれ、日本共産党議員団が問題点を明らかにし、昨年度の一般会計決算認定議案について反対討論しました。

市民負担増は改めるべき

問題点は、市民の暮らしが良くならない経済状況のなかで昨年は、健康長寿奨励金の廃止、在宅心身障害者手当の削減、学校給食費の値上げ、市民への負担増が行われました。

二つ目に、昨年度の会計で民費で約8億円、衛生費で約8億3千万円、教育費で7億2千万円も余らせています。節約によるものもありますが、この余った額の一部をまわせば市民負担を減らす必要はありません。

公正・公開ほど遠い

三つ目に、市民に負担を決定するときに、その過程が庁内の会議で決定されていて、市長の掲げる公正・公開の基本姿勢からほど遠いものになっています。

もっと雇用対策できる

四つ目に、市の雇用対策が不十分なことです。「埼玉県緊急雇用創出基金事業」で、本市は3年間で4億1千万円の活用が期待されています。昨年度市の実績は、約4600万円、今年度約7300万円となっております。

期待される目的からは不十分で、今後の積極的な事業申請が求められます。



市民への負担増押しつけ 生活を破壊していく危険が 市は、下水道料金の値上げ、今年も固定資産税のうち都市計画税の値上げや各種団体の助成金の削減を強行。今議会でも、重度心身障害者の医療費助成を削減しました。今後、値上げが検討がされているのは、公立・私立保育園の保育料の値上げ、学童保育料の値上げ、在宅介護手当の削減・廃止など「学校開放による団体への使用料は見送り」、などさまざまあります。川合市長は、今までの市政の良い所を削り、大規模事業など都市計画道路を整備するための財源になることは明らかです。日本共産党議員団は、市民の暮らしを守る立場で発言し提案しています。

市民のくらしを支える日本共産党